

# からしだね通信

【発行】社会福祉法人ミッションからしだね  
〒607-8216 京都市山科区勸修寺東出町75番地  
TEL 075-574-2800 FAX 075-574-0025  
e-mail karashidane@able.ocn.ne.jp  
URL : <http://www.karashidane.or.jp/>

## 10号(2009年春)

京都市東部精神障害者地域生活支援センター 【からしだねセンター】

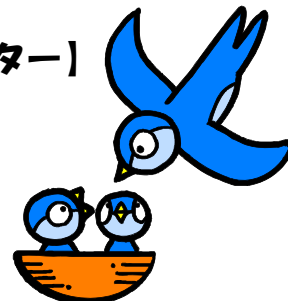
TEL 075-574-2800

精神障害者通所授産施設 【からしだねワークス】

TEL 075-574-4455



カフェ  
トライアングル



## 「括弧でくくる」

社会福祉法人ミッションからしだね  
理事長 坂岡隆司

からしだね館の開設から間もなく3年になります。この間多くの方々から様々なご支援を頂戴しました。細かく言えばいろいろな問題や課題を抱えながらも、おおむね大過なく基礎づくりのこの時期を越えることが出来たと思います。これも皆様のご協力のおかげと心から感謝しております。

つくづく思うのは、時間の経過というもの不思議なもので、たとえばある問題が時間とともに整理されたり、解消されたりするということがありますし、またある出来事に何かの意味が与えられたり、あるいは人の考えや感覚が（自分も含めて）微妙に変化したりすることもあります。生きている証拠と言ってよいかもしれません。

大江健三郎が『「自分の木」の下で』という本の中で、人は生きてゆくうえで本当に難しい問題にぶつかった時、一応それを括弧に入れて生きてく、そうした「ある時間待ってみる力」が必要だ・・・それは初めから逃げるといふのは違う・・・というようなことを書いていました。

括弧でくくる、とはおもしろい表現ですが、なるほどと思います。真剣に向き合ってもどうにもならない問題、不条理と言えるもの、または待つことに不安を覚えるようなこと・・・。人生にはそんなことが、何と多いことだろうと思います。

が、それらから少し距離を置いて、時間の経過にゆだねて敢えて待つ。そこには、もしかしたら「戦略的な」待つ、も含まれるのかもしれませんが、いずれにしても待つ。そのうち、括弧の中が解けてしまったり、変容したりします。あるいは自分自身だって変化していくわけです。

それが「時」の持つ意味でしょうし、そうした作業の連続が「丁寧に」生きていくということなのかもしれません。ギリシャ語の「時」を表す語には、時間の経過を表す *chronos* と、意味をもったその時という *kairos* の二つがあるそうです。聖書に「よろずのわざには時あり」（伝道の書3:1）という言葉がありますが、この場合はもちろん後者です。実存的な「時」とでも言うのでしょうか。

まさにいろいろなものを括弧でくくりながら、その時を待ちながら生きていくのが人生なのかな、と思っています。

## からしだねセンターからのご報告

からしだねセンターでは、利用者お一人お一人が、障がいを抱えながらも自分の人生を自分らしく生きていきたい、そして、どんな自分でありたいのか、どんな生活をしたいのかを障がい者自身が考えながら、主体的に社会の一員としての地域生活を営んでいきたいと願っています。そのためには、地域に暮らしておられる方々の障害に対する理解がどうしても必要となります。

### 今年度の新しい取り組み

からしだねセンターでは、2009年度の取組みとして、障害に対する地域の方々の理解を深めるとともに、からしだね館が一つの社会資源として地域に定着するよう積極的に施設を開放したいと思います。

そのために地域の方々が気軽に施設を利用できる講座やイベントを企画、広報し、少しでも多くの地域の皆様からしだねセンターの存在を知ってもらおうと考えています。今年度の新しい取組みとして、外部より講師を招き、カルチャースクールのようなスタイルで講座を運営し、より自然な形で地域の皆様や当館利用者が時間・場所を共有し、交流を図る機会を設けることができるように、現在計画進行中です。



打ち合わせ風景

### からしだね利用者さん作品コーナー○▼○からしだね利用者さん作品コーナー○▼○からしだね利用者さん作品コーナー 「からしだね」

糸原 太郎

京都駅地下鉄東西線の小野駅を下車、改札口を出ると・・・？いや、長い階段を登り、地上に出ると、二つの太陽が天空とビルの屋上に昇っているのを知る人は幾人いるだろうか？

小野駅の出口から東に見える、その太陽の一つは夕刻になり時間がたっても沈むことなく、多くのネオンと混じりながらも、今度は月として輝いている事を知る人はまず居ない。

その月には、こう書いてある。

『からしだね』

『『からしだね』って一体何の意味？』なんてことを多くの人から聞かれる。

「今度調べておくよ。じゃーまたね！」何時もそう言って、そのままに調べもせずに忘れてしまうのが常だった。

『からしだね』に通いだしてもう1年近くになる。私の前には多くの人が流れてゆく。それを一人一人に説明するには時間はあまりに有限、限られていて、すれ違う人は余りに多い。

毎日、時計の針が二回りするのに追われ、あくせくする人々に太陽の輝き、月の照らす温もりを感じる人は幾人いるだろうか？

日々、見逃される風景、それが日常というものだ。それが幸せか、そうでないかなんて計るスケールなんて誰も持っていないし、誰にもわからない。



利用者企画プログラムが続々登場！

某月某日 「漫画のススメ」

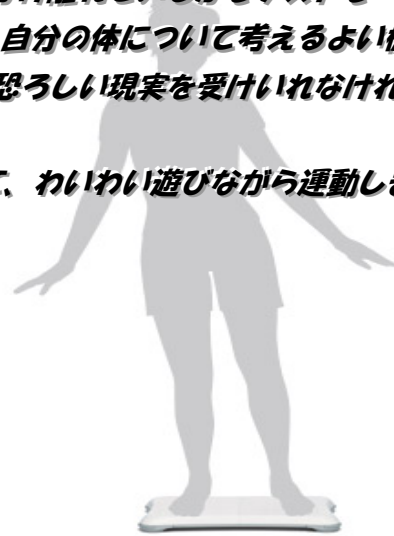
利用者自身が企画・準備をし、漫画「オトメン（乙男）」（菅野文著、白泉社）を読みました。乙男とは、乙女的思考をもった男性のこと。漫画の主人公が少女漫画や裁縫・製菓が趣味の乙男だそうで、漫画を通じ「男らしさ」「女らしさ」についてみんなで頭を悩ませ考える機会になりました。



某月某日 「Wii fitのススメ」

Wii fitをしました。運動能力が実年齢とどれくらいかけ離れているかをテストをしたり、体脂肪率がどれくらいかを測定したりして、自分の体について考えるよい機会になりました。が、その時は、参加者から聞こえるのは悲鳴ばかり・・・。恐ろしい現実を受けいれなければならなかったようです。

その後は、Wii sportsで野球やテニスのゲームをして、わいわい遊びながら運動しました。



その他センタープログラムの様子

ウォーキング



イエーイ！！



山登り



私達の活動の一部です。今回のプログラムは外出バージョンをお届けしています！



花見

壬生狂言（壬生寺）



## からしだねワークスからのご報告

からしだねワークスでは今後も、利用される皆さんが「就労」を通して地域のなかでスムーズに自立した生活をおくっていただけるような支援を積み重ねていきたいと思えます。

2009年度は特に以下の3点に力をいれます。

### ☆自立支援法移行準備

移行期限の2012年（H24）3月末に向け、継続的な取り組みを行う予定です。特にワークス利用者の受入れ体制作りは重要で、現在1日平均10名の利用者の数を少しずつ増やしていくことができるよう、就労訓練のための作業（仕事）の種類と量の確保や、職員体制、企業との関係作りなどに力を入れていきたいと思えます。

### ☆利用者支援の充実

現在、からしだねワークスには、一般就労を目指すコースとワークス利用継続コースとがあります。一般就労を目指すコースは、基礎、初級、中級、上級、就労直前と、利用者が段階を追いながら自分の課題に取り組み、自分にもっともふさわしい仕事の形態を見出し、スムーズに一般の会社や店に就職して仕事ができるよう支援を行っています。ワークス継続コースは、からしだねワークスでの作業を続けることで、生活の中に「仕事」の時間を持ち、生活リズムを整え、働く充実感や達成感を味わうことができるように支援を行っています。

いずれも、ワークスを利用される皆さんが、自分の暮らしを楽しみ豊かなものにするために、「働く」ことに挑戦する、その果敢なチャレンジ精神をワークスは応援していきたいと思っています。

### ☆地域の皆様に喜んでいただけるカフェ・トライアングルの店作り

カフェ・トライアングルは、小野駅前の、勸修寺や随心院、醍醐寺などの観光名所近くにある店として、また安くておいしい食事や飲み物を楽しみながらゆっくりくつろいでいただける店として、全国的なガイドブック数誌にも取り上げていただいています。一度、お店に来てくださったお客様のリピーター率はかなり高いのですが、残念ながらまだまだ地域の中に知れ渡っていないようです。

今後、もっと目立つ外観やより居心地のよい店作り、お料理やスイーツメニューの工夫をこらしていきたいと思えます。また、からしだねセンターと協力しながら、カフェ・トライアングルの営業と空間を活かした地域交流を、今までにない斬新なアイデアをどんどん取り入れながら進めていく予定です。からしだね職員、利用者さんだけでなく、皆様からもよいご意見やアイデア等、お寄せいただくと大変うれしいです。



ワークス利用者さん作業後の振り返り用紙より抜粋しました。  
みなさんがどんなことを考えながら作業をしておられるのか、感じ取っていただければ  
うれしいです。

(カフェ接客のYさん)  
 今日はレジの講習会でした。レジはいろん  
 な事に気を配らないといけないので難しい  
 です。これからいろんなケースを経験して  
 勉強しないとイケないなあと思います。大  
 変わかりやすく、ためになる楽しい講習で  
 した。  
 ⇒ (職員より)  
 慣れていけば大丈夫です。「落ち着いて」を  
 心構えにしてがんばっていきましょう！！  
 お疲れさまでした。

(配食弁当配達のHさん)  
**3月ももう中旬になってきて日が経つのが早  
 いと感じます。配食先のお年寄りが皆さん笑  
 顔で出てきてくださるのがとても嬉しいで  
 す。中には「私ももうじき90歳よ」と言われ  
 て驚きです。また今日も元気をもらいまし  
 た。来週もがんばります。**  
 ⇒ (職員より)  
 そうですか～。90近くで一人で生活はき  
 と大変ですよ。そんな時に優しいHさんか  
 らお弁当を渡してもらってずいぶんほっと  
 和まれるでしょうね。



(製菓のIさん)  
 自分が作ったものをお客様が買って下さる事はとても  
 嬉しいことです。熱心に作業ができました。今のとこ  
 ろ無理なく生活面にめりはりができ、体が動きやす  
 くなったように思います。ていねいな指導をありがとうご  
 ざいました。  
 ⇒ (職員より)  
 お疲れ様でした。とても集中して「売り物」として製菓  
 に取り組んでおられるなーと思います。



(食器洗浄のKさん)  
 今日は初夏を思わせる天気  
 だったが、作業に入ったら  
 気にもならなかった。最後  
 コップを割ってしまいました。  
 ⇒ (職員より)  
 今日は暑かったですね。コッ  
 プは仕事をしているからこそ  
 割れるのだと思います。家で  
 ぼーっとしてたら割れること  
 もないです。次から気をつ  
 けましょう。

(食器洗浄のTさん)  
 みんなががんばっている  
 ので、私もがんばろうと  
 思いました。  
 ⇒ (職員より)  
**何をがんばるのか** —  
 そこをしっかりおさえて  
 がんばってくださいね。

(調理のIさん)  
 暇な日でしたが、結構やることがありました。オ  
 ーダーで追われている方が楽で楽しいかも。  
 何故最近ランチのオーダーが多いのでしょうか？リピーターの統計があればよりよいサービス  
 が提供できるかも・・・。  
 ⇒ (職員より)  
 リピーターの統計・・・はとっています。店の経  
 営に全く活かせていません。  
 みんなにも話してみよう。



《からしだね館 紹介コーナー》 からしだねセンター 5月予定表 \*一例として5月の予定表を掲載します\*

| 日  | 月  | 火                                       | 水   | 木  | 金   | 土         |
|----|--|---|---|--|---|-----------|
| 10 | 11<br>13:30~卓球                                     | 12<br>13:30~<br>コミュニケーション<br>「やわらかあたま塾」 | 13<br>13:30~茶道<br>15:00~運動部                                     | 14<br>11:00~創作<br>13:00~<br>色紙絵                    | 15<br>14:00~<br>クッキング<br>「炊き込みごはん」<br>実費100円                        | 16<br>休 み |
| 17 | 18<br>13:30~15:30<br>映画鑑賞<br>「ライフ・ビューティフル」         | 19<br>13:30~<br>ウォーキング                  | 20<br>13:30~<br>恋愛塾⑤<br>「好かれるワポイント」<br>15:00~お茶<br>しましろう会(100円) | 21<br>11:00~<br>レクリエーション<br>*映画村                   | 22<br>14:00~<br>交流分析自主<br>勉強会                                       | 23<br>休 み |
| 24 | 25<br>13:30~<br>ウォーキング                             | 26<br>13:30~就労                          | 27<br>13:30~<br>コミュニケーション⑤<br>「話しかける」<br>15:00~運動部              | 28(絵画展)<br>11:00~創作<br>13:30~書道                    | 29(絵画展)<br>13:30~<br>地域清掃<br>18:00-21:00<br>フットサルクラブ                | 30<br>休 み |
| 31 | 6/1<br>センターニュース発行<br>13:30~<br>健康管理<br>「ビ-ホ-ルバ-レ-」 | 2<br>13:30~<br>ストレッチ                    | 3<br>13:30~陶芸   | 4<br>11:00~創作<br>13:30~<br>コミュニケーション⑥<br>「続・話しかける」 | 5<br>13:00~16:00<br>山登り「桃山城」<br>・ 昼食は済ませる<br>・ 水分は各自用意<br>・ 動きやすい格好 | 6<br>休 み  |



2008年10月6日(月)

早稲田大学健康福祉ネットワーク・京都セミナーのため来日されたミンガン大学の福祉関係者が、この日の午後からしだね館を見学されました。

Visitors



2009年2月12日(木)

オーストラリア・メルボルンの St. Vincent' s Hospital の Eugen Koh 博士が、からしだね館を訪問されました。博士は、同病院のコンサルタント精神科医であり、コミュニティの中で重症のパーソナリティ障害の患者を支える活動がされています。今回は日豪交流で行われた全国精神障害者作品展への参加と講演のために来洛されました。

—カフェ・トライアングルにて Koh 博士(中央)—



からしだね館の癒し犬  
Rusken

男の子です。  
もうすぐ1歳になります。  
耳がたっぽうだけたれています。  
すごく痩せています。  
とってもかわかります。  
だっこが大好きです。  
かつては大阪の山で野良ちゃんでした。  
今はからしだねのみんなに  
愛されています。  
利用者さんやボランティアさんが  
手に手におやつを持って  
ボクをかわいがりにきます。  
おかけでたいそうなグルメです。  
みんなボクのことを美男子だと  
ほめます。  
まんざらでもないです。  
このあいだ京都新聞にも載りました。  
ちょっと有名になりました。  
みなさんよろしく。

《ミッションからしだねご寄付・ご寄贈者名簿 \*順不同 2008年4月~2009年3月》

中村長次様 税理士法人ブレインズ様 浅野純江様 荻原武様 高木春美様 坂岡隆司様 坂岡恵様  
 川崎孝彦様 藤井和子様 北村武司様 君村昌様 蒲池国光様 大西昭夫様 宮崎美枝様 イマビル京都西教会様  
 木村稔様 イマビル京都伏見教会様 関西聖会様 中村喜仁様 鍋島愛信様 佐倉富男様 田中康夫様  
 稲田結様 佛教大学様 一木訓治様 三島豊子様 福井義一様 伊藤正泰様 からしだね後援会様 古市洋様  
 (株)朱常分店取締役社長内田吉治様 京滋地区青森りんごの会様 匿名様 VIP 京都様

《\*\*万が一記載漏れがございましたら、ご一報くださいませ。\*\*》

《ボランティア ありがとうございます》

木場田幸子様 佐倉富男様 西村英司様 林江美様 伴武之丞様 松野靖様 森實万佐子様 一木訓治様  
 柳香里様 京都医療福祉専門学校学生3名様

第3回からしだね公開講座のご案内です。

家族を自殺に追い込まないために...

身近な人を自殺で失ったら...

遺族にどう接したらよいか...

どうしたら自死で亡くなる方を減らせるか...

講師 石倉 紘子氏

(「こころのカフェきょうと

(自死遺族サポートチーム)」代表

第三回からしだね公開講座

「うつ」の時代をどう生きる？

自死遺族のサポート活動を通して

二〇〇九年六月二十七日(土)午後二時~四時(二時三〇分より受付開始)

●からしだね館地下 多目的ホール

(京都市山科区勤修寺東出町七五番地 地下鉄東西線小野駅一番出口より南へ徒歩一分)

●定員四〇名(定員になり次第締め切り)

●申込締切 六月二十日(土)

●主催 社会福祉法人ミッションからしだね

●申込・問合せ からしだね館 電話〇七五(五七四)二八〇〇まで

無料

